

よいことのために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

静岡ロータリークラブ

●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/児玉 俊明 ●副会長/坂上 康 ●幹事/川崎 裕司 ●副幹事/山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026 9月1日 ☀ 第3749回例会

ゲスト卓話「会員増強について」



●ロータリーソング●



副ソングリーダー
鈴木 礁さん

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君

今日から9月、昔はもう秋と言われましたが、非常に暑いですね。

R Iでは8月を会員増強月間と定めており、第2620地区の会員増強委員長の望月様にお越しいただき、卓話を頂戴します。

9月1日は防災の日です。防災の日の由来はご存じの通り関東大震災です。

●ゲスト紹介●

国際ロータリー第2620地区会員増強委員会
委員長 望月 瑠華 様

関東大震災は1923年（大正12年）9月1日11時58分に発生した地震で、震度6、マグニチュード7.9とされていました。しかし当時は震度7という区分がなく、現在の基準では震度7であったと推測されています。被害は、死者・行方不明10万5千人、建物全壊10万9千棟、全焼21万2千棟という大災害でした。

本日は日本各地で防災訓練が実施されていることと思います。



私も本日、所属する電気業界団体の防災訓練に参加し、市役所担当者の指定する場所に行き、地震発生を想定した被害報告および災害処理報告等を行ってきました。

防災の日は過去の災害を思い出す一日であり、もし大災害が起きたときにどう行動すべきかを考える一日にしたいと思います。

●委員会報告●

雑誌委員会 後長 伸太郎委員長

「ロータリーの友」9月号見どころ

【左綴じ頁】

・P5～11 RI会長フランシスコ・アレツォの人物像と所感紹介

・P12～19 「ロータリーの友月間」特集と活用メッセージ、アンケートの紹介

【右綴じ頁】

・P2～6 AI研究者・小平暁雄「生成AIの全貌」特集。

AIエージェントの発展予測と活用可能性を紹介。



SAA委員会 伊藤 博委員長

防災対応・避難訓練

・本日防災の日に伴い、例会後の避難訓練を実施。

・巨大地震への通年の注意喚起と最近の主な震度7級地震、宮城県沖M7.1(8月)の言及。

・配布資料の裏面「地震及び火災等の発生時における避難方法」参照の周知。

・当会場(グランディエール)の耐震性説明、地震発生時は落ち着いて待機しスタッフ誘導に従うことを確認。

・退出方法:点鐘と同時に非常階段を利用。

年配者は会場待機後にエレベーターで退出。

親睦委員会 内田 健委員長

歓迎会

・9月12日(金)18時、浮月楼にて歓迎会を開催。



・予算は45名想定、あと3名の参加協力依頼。

・参加表明への謝意と出席呼びかけ。

●おめでとう●

【誕生日お祝い】

8月26日 木村 絵美さん

8月26日 石塚 直美さん

8月31日 柳田 一男さん

●スマイル●

若松 誠さん ●月●●日の誕生日祝いへのお礼

二宮 徹さん 先週の誕生日祝いへのお礼

木村 絵美さん 誕生日祝いへのお礼

石塚 直美さん 年齢非公開、私の賞味期限は長めに設定されている。これからも皆さんと一緒に地域の未来を美味しく熟成させていく。

柳田 一男さん ●月●●日に●●歳、感謝の気持ちを忘れず、素直な心を持って積極思考で一日一日を過ごしていきたい。

山田 知広さん ●月●●日結婚祝いへのお礼、結婚●●年目家庭円満のため、仕事もほどほどに頑張る。

鈴木 礁さん 皆出席に感謝、継続年数●●年満席テーブル 浅原さんテーブル、松崎さんテーブル

北澤 哲也さん 本日のスマイル担当交代報告と挨拶

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
9/1	110名	73名	37名	66.36%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

●ゲスト卓話●

国際ロータリー第2620地区会員増強委員会
委員長 望月 瑠華 様

・世界会員数約116万人、日本約8万2千人。

・1997年に世界120万人、日本13万1千人をピークに減少。

・先進国は減少傾向、インド・アフリカなどは増加。

・日本人口10年で約2.6%、日本の会員数は約4,500人(5.1%)。

・第2620地区人口約4.9%、会員数10年で約100名(3.3%)、過去5年で約3%。

・昨年7月1日2,818人→今年7月1日2,780人に減少。ゼロ・プラス転換を目標。

・増強継続が必要な理由として、1.自然減への備え 2.活性化・多様化対応 3.将来リーダー育成 4.地域信頼と連携拡大 5.既存会員のモチベーション維持

・地区内成功事例

磐田 RC インビテーションカードと顔写真リストで正式招待し不安軽減。

甲斐 RC 奉仕活動を SNS 発信。関心層へアプローチし自然な入会に繋げる。

山梨 RC 細則変更で会員種別の拡充(親子



会員等、会費2/3・入会金なし等)。

大月RC マンスリー会員(月9,000円、月1回出席、追加出席は食事代)を導入。

海南RC JCと継続連携、オープン例会で入会候補者多数参加

・会員種別の工夫例:シニア会員(年齢条件で会費軽減)、ウェブ会員、法人会員など。

衛星クラブの推奨 ➡

8名で設立可能、スポンサークラブの会員数に算入。

例会は月2回、会費納入、雑誌購読は本クラブ同様。

運営の柔軟性が高く、多様な候補者に対応。

衛星が15名に達した場合は本クラブ化も継続も可。

地区初の衛星クラブ(甲府シティ中央衛星RC)は現在本クラブ化し活動中。

地区内に現時点で衛星クラブはなし。静岡県内で検討中のクラブあり。

・断り理由の傾向

年会費が高い、例会開催時間と回数、ロータリーの理解不足。

・増強を継続し、より強く魅力的なクラブへの成長を期待する。

卓話の最後に当クラブメンバー5人の方に会員増強についてパネルディスカッションをして貰いました。

